

令和 6 年度事業報告書

(令和 6 年 4 月 1 日より令和 7 年 3 月 31 日まで)

I 公益事業

1、クラシック音楽普及事業（定款第 4 条第 1 号関係）

(1) コンサート情報アプリ「チラシクラシック」の運営

クラシック音楽の普及と新規顧客開拓に向けた新規広報ツール、スマートフォン向けのコンサート情報アプリ「チラシクラシック」については、運営事務局を賛助会員のイープラス社内に置き運営を行っている。令和 6 年度の運営概要報告は以下のとおり。

※事業名 チラシクラシック

対象期間 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月までの一年間の運営報告（開始 平成 30 年 10 月 25 日）

運営主体 日本クラシック音楽事業協会

運営事務局 チラシクラシック運営事務局（株式会社イープラス内に設置）

内容 観客の高齢化が進むクラシック界において、新たな観客（特にライト層や若年等）に向けた情報提供活動として、いつでもスマートフォンから全国で実施されるクラシックコンサートのチラシが無料で閲覧できるサービス。

- ・ インストール数：12,240(+681)（対前年比:0.78）昨年より約 20%減
- ・ 掲載チラシ総数：1,103（対前年比:0.86）昨年より約 15%減
- ・ 新規登録主催者数：69 団体／69 名（対前年比 0.72/0.71）昨年より約 30%減
- ・ 1 日当りの掲載公演数：3.02（対前年比:0.86）昨年より約 15%減
- ・ 平均チラシ掲載期間：111 日（対前年比 1.34）昨年より約 30%増
- ・ セッション数：11,104（アプリの起動数）（対前年比:0.78）昨年より約 20%減
- ・ スクリーン数：209,627（画面数）（対前年比:0.78）昨年より約 20%減
- ・ セッション別：18.88（1 回平均画面数）（対前年比:0.99）微減
- ・ 新規ユーザー：1,186（対前年比:0.80）昨年より 20%減

(2) クラシック・アワード(仮称)の創設に向けた運営委員会の設置について、会員公募の結果 8 会員から委員参加があり、今年度は計 3 回の運営委員会を開催し、目的・趣旨・対象者・内容・予算等を協議の結果取りまとめ、開催の方針を理事会に提出し、開催に向けた準備を進めている。

第 1 回運営委員会 令和 6 年 12 月 13 日(金)14:00～15:30 オフィスサークル N 五反田 セミナー室(大)

第 2 回運営委員会 令和 7 年 2 月 6 日(金)14:00～15:30 オフィスサークル N 五反田 セミナー室(大)

第 3 回運営委員会 令和 7 年 3 月 7 日(金)11:00～13:00 オフィスサークル N 五反田 セミナー室(小)

2、音楽関連人材育成事業（定款第 4 条第 1 号関係）

(1) クラシック音楽に関する人材育成として会員向けの研修会を下記の通り開催した。尚、シンポジウム、経営懇談会については、今年は開催しなかった。尚、5(2)に記載の協力活動における人材育成事業については会員各位に参加を呼びかけて開催に協力した。

※会員研修会 第 1 回

テーマ「フリーランス新法について/ SNS のリスクマネジメント」

日 時 令和 7 年 2 月 3 日(月) 14 時 00 分～17 時 00 分

会 場 オフィスサークル N 五反田 地下 1 階 セミナー室(大) [品川区]

参加者 協会会員社 計 15 社 34 名

ゲスト 島崎政虎（弁護士/半蔵門総合法律事務所）

コーディネート 入山功一（協会会長/（株）AMATI 代表取締役社長）

内 容 前半ではフリーランス新法の概要及びその適用範囲、フリーランスへの業務発注と契約締結に関するポイントを学び、後半ではSNSを運用する際の事前のリスクマネジメントの必要性について、具体的な事例を基に学んだ。

(2) 青年部、女性部会の活動

※青年部

昨年より新たに立ち上げた青年部については、若い人たちの視点により業界の課題を共有し合い魅力的な業界を目指すための活動を行っている。今年度は昨年度に引き続き、様々なテーマによる部会を4回開催する他、課題の実践の場として開催した座談会では、アーティストのプロデュースにまつわる経験談等を車座になってゲストからお伺いする等、質疑応答も活発に実施された。

勉強会 4月2日(月) 14:00～12:00 オフィスサークルN五反田地下1Fセミナー室(小)

8月5日(月) 16:00～18:00 オフィスサークルN五反田地下1Fセミナー室(大)

11月19日(火) 16:00～18:00 オフィスサークルN五反田地下1Fセミナー室(小)

3月6日(水) 16:00～18:00 オフィスサークルN五反田地下1Fセミナー室(大)

座談会「座・青年部～先輩を迎えて」(第一回)

日 時 令和7年2月28日(金) 16時00分～18時00分

会 場 オフィスサークルN五反田地下1Fセミナー室(大)

参加者 協会青年部会員 計15名

ゲスト 青木聡(公益財団法人ソニー音楽財団専務理事、ライブエグザム 常務取締役 他)

トークホスト 戸塚彩夏(光藍社)、神野友志(プロアルテムジケ)、桑原渉(テレビマンユニオン)

終了後希望者により交流会を実施された。

※女性部会

女性部会では、永年の課題であったクラシック・アワード(仮称)の事業構築を、個別の委員会事業とした事から、今年は会員社所属の女性スタッフの交流と言う従来の活動に立ち返り、会員社で活躍されている女性スタッフのお話を聞くと言うコンセプトとし、以下の講演会を開催した。

テーマ「インクルーシブ・アーツ 社会包摂×文化芸術」

日 時 令和7年3月18日(火) 14時00分～16時00分

会 場 オフィスサークルN五反田 地下1階 セミナー室(大) [品川区]

参加者 協会会員社 計12社17名(リモート参加含む)

ゲスト 新井鷗子(構成作家、横浜みなとみらいホール館長、東京藝術大学客員教授 他)

コーディネート 萩野美智子(協会理事/(一社)ブラームスホール協会理事長)

内 容 横浜みなとみらいホール館長の新井鷗子さんをお迎えし、トップランナーとして取り組まれている「インクルーシブ・アーツ」「社会包摂×文化芸術」について、実際の取り組みの様子を写真や動画で数多くご紹介いただきながら、お話を伺った。

(3) 産学連携テキスト「新 クラシック・コンサート制作の基礎知識」のリニューアル発刊

2013年の発刊より10年を経過したテキストについて、人材育成テキスト編纂委員会では、編纂担当の石田麻子委員長(昭和音楽大学教授)を中心に16名の執筆陣による寄稿を経て、3月末(書籍奥付では5月20日)付にて、リニューアルした「新 クラシック・コンサート制作の基礎知識」を装いも新たに発刊した。

タイトル 「新 クラシック・コンサート制作の基礎知識」

企画制作 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

制作委員 人材育成テキスト編纂委員会 担当理事:下八川共祐 委員長:石田麻子

編 纂 石田麻子(昭和音楽大学教授)

発 行 2025年5月20日(B5版 約200ページ 定価 ¥2,500円消費税別)

発 行 所 株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス

- (4) コロナ禍により見直された文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けたガイドライン等を踏まえ、当協会の契約フォーマットの条項見直しについては、マネジメント部会にて検討しており、売り公演、マネジメント契約、専属契約の三種類の新たなフォーマットを会員各位に提示すべく準備中である。

3、アーティスト連携事業（定款第4条第1号関係）

(1) 地域創造連携事業

○公共ホール音楽活性化事業（導入プログラム）

一般財団法人地域創造の実施する公共ホール音楽活性化事業に制作協力して、全国の公共ホールに於けるクラシック音楽の普及と地域音楽文化の活性化を促進する為、同財団からの受託事業として、登録演奏家プロフィール冊子の作成やプレゼンテーションを受託し以下の通り実施した。

※令和6年度公共ホール音楽活性化事業（全国10地域で実施）

※令和6年度登録アーティストによるプレゼンテーション

7組（11名）の登録アーティストによるプレゼンテーションが開催ホールに対して実施された。

令和6年4月23日（火）／会場：トッパンホール（飯田橋）

○公共ホール音楽活性化支援事業（支援プログラム）

公共ホール音楽活性化事業のフォローアップメニューとして、おんかつ事業実施ホールとOB・OGアーティストとの再マッチングにより、各地域でのおんかつ事業の継続を計る為の事業。導入プログラムと同様に同財団からの受託事業として、登録アーティストのプロフィール冊子の作成やプレゼンテーションを開催するとともに、令和6年度は全国39地域で実施した。

※登録アーティストによるプレゼンテーション

当協会会員社所属の全114人（組）の登録アーティストのうち、54組72名によるプレゼンテーションが開催ホールに対して実施された。

令和6年7月29日（月）30日（火）31日（水）／会場：東京芸術劇場

※令和7・8年度を登録期限とするアーティスト選考会の実施、並びに新規登録アーティストへの集合研修及び実地研修の実施。

【第一次選考会（音源・書類審査）】令和6年5月21日（火）／会場：地域創造会議室

【第二次選考会（実技・面接審査）】令和6年6月13・14日（木・金）／会場：トッパンホール

集合研修 令和6年9月17・18日（火・水）／会場：地域創造会議室

実地研修 令和7年2月17日（月）～18日（火）／会場：山形県鶴岡市

令和7年2月26日（月）～28日（水）／会場：岡山県勝央町

○公共ホール音楽活性化支援・文化庁連携事業（文化庁連携）

公共ホール音楽活性化支援事業の継続事業である本事業は、アウトリーチの実施部分を文化庁の支援、コンサート部分の支援を地域創造のスキームで実施し、今年度は全国1地域に当協会会員社所属の登録アーティストの派遣を行った。

○公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業（市町村連携）

公共ホール音楽活性化事業及び同支援事業の実施施設が他の市町村と連携して実施する市町村連携プログラムについては、令和7年度に向け1地域が採択され、地域内の5団体による実施に向けた準備がなされている。

○公共ホール音楽活性化事業（障がい者関連プログラム）

公共ホール音楽活性化事業におけるアウトリーチプログラムを、主として特別支援学校や障害者施設

等において実施する新規事業、令和7年度に向け2地域が採択され実施に向けた準備がなされている。

○公共ホール邦楽活性化事業 OB、OGアーティストの支援登録のマネジメント斡旋

公共ホール音楽活性化事業の兄弟事業である公共ホール邦楽活性化事業では、OB・OGアーティストの支援制度がないことから、おんかつ支援事業の枠組みによるOB・OGアーティストの派遣が出来るよう、支援事業実施に向けたマネジメントの斡旋を行った。

4、情報収集発信事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽事業ガイドの発刊に向けた編集作業と広報誌の発刊

※クラシック音楽事業ガイド

隔年発刊のクラシック音楽事業ガイド2025-2026を、令和7年6月末日に発刊すべく、前号に引き続き会員各社の協力を得て編集作業を行った。内容は前号と同様に協会及び会員社の紹介に特化する代わり、無償化し協会の広報に役立てる方針である。発行部数は前回同様1500部とした。

「クラシック音楽事業ガイド2025-2026」

発行予定 令和7年6月30日 1,500部（無料）

発行所 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

編集 ガイド編集委員会

※広報誌「ポンプ&クラシックス!」

広報誌「ポンプ&クラシックス!」については年間四回季刊として協会活動の報告や各種情報等を掲載し、併せて協会加盟会員を記載して発行した。又発行部数は各号600部とし、会員を始め官庁及び関係団体にも配布し、協会活動の広報の役割を担っている。

タイトル： 広報誌「ポンプ&クラシックス!」 / 発行人：入山功一 / 編集人：中村聡武

第44号＝6月30日発行、第45号＝10月20日発行、第46号＝12月20日発行、第47号＝2月20日発行。又、広報誌と連携し、協会からのメールニュース配信についても月次配信の定期ニュースの他、会員情報、事業関係情報、関係官庁・団体の情報等リアルタイムな情報発信を行っている。

尚、今年度のメール配信は総数74通であり、新型コロナウイルスの5類移行後、初めてコロナ関連の案内がなくなった年となった。

(2) JAPAN CLASSIC NAVI〈ホームページの運営管理〉

協会のオフィシャルウェブサイトの運営については、協会の紹介、法人組織の紹介、様々な事業の紹介を行うと共に、コロナ禍においては、クラシック音楽公演運営推進協議会による「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の改定情報の公表及び飛沫飛散の科学的検証の公式報告書等も掲載している。

- ・平成25年のサイト開設後から11年間の累計閲覧数 約154万回
- ・令和6年度単年の閲覧数 約9.8万回（昨年度約8.8万回）
- ・閲覧数上位のページ：3,315回 [会員企業情報]
3,127回 [協会概要]
1,388回 [お問合せ]

(3) クラシックコンサート市場調査（新型コロナウイルス感染症からの回復調査）の実施

令和2年度の実施調査「クラシック音楽公演に関する新型コロナウイルス感染症の影響調査」（委託：文化芸術推進フォーラム）をベースとし、翌年の令和3年以降は当協会の市場調査として、会員各社に関わる公演総数や観客動員数、売上規模等の項目を新型コロナウイルス感染症からの回復調査として実施した。統括団体として業界の基礎データを収集し、クラシック音楽産業の社会的な認知と、業界の活動や役割を明確すると共に、この調査結果は文化芸術推進フォーラムを通じて政府に提出し、様々な施策へ反映させる方針である。以下の調査結果は令和6年6月に公表した令和5年度の回復調査データである。尚、令和

6年度の調査は実施中であり7月の公表を予定している。

〈令和5年度の調査結果の概要〉

- ・調査対象:当協会会員のクラシック音楽事業者
(マネジメント・ホール・演奏創造教育団体・メディア関連、その他関連業種)
- ・調査内容:公演開催数、観客動員数、事業収入 等

〈令和5年度調査結果の概要〉

- ・主催公演回数では対前年の36%増、2019年コロナ前の42%増にまで回復しており、その他公演も対前年の18%増ではあるが、2019年コロナ前と比較すると73%の回復に留まっている。
- ・観客動員数は155万人と前年より20%増加したもののコロナ前の75.5%に留まっている。
- ・事業収入は主催公演で97.6億円と前年より7%減少し補助金も前年より31%減少したが、主催公演収入より補助金を差し引いた真水の部分では対前年の微増に留まっている。その他公演は対前年の252%と激増、その他事業も198%と激増したものの、合算した場合コロナ前の75%の回復に留まっている。
- ・主催公演とその他公演を合算した公演事業総収入で俯瞰すると185.9億円であり、前年より33%増ではあるがコロナ前の246億円に対しては76%の回復に留まっている。
- ・総論として、観客動員数はコロナ前の75.5%、公演収入は76%の回復率に留まっている。

5、音楽文化振興事業（定款第4条第2項関係）

(1) 文化芸術推進フォーラム

当協会を始め、芸術文化関係団体25団体で構成する文化芸術推進フォーラムでは、文化芸術振興議員連盟（会長:遠藤利明(自由民主党)）と共に、文化芸術が社会において果たしうる役割を十二分に発揮していくことを目指し、文化芸術基本法の理念の浸透、啓発を図り、文化芸術振興のための政策提言等の活動を行っている。尚、令和6年度は、以下の様々な活動や政策提言等を当協会も参画して実施した。

4月24日 「セーフティネットに関するアンケート」分析結果の公開

6月11日 文化芸術振興議員連盟総会/文化芸術推進フォーラム「提言2024」を発表

2月3日 文化芸術推進フォーラム 運営委員会

3月13日 文化芸術推進フォーラム 運営委員会

3月24日 文化芸術振興議員連盟総会/2025年度予算と今後の文化芸術予算への意見提出

(2) 日本音楽芸術マネジメント学会

日本音楽芸術マネジメント学会の活動については、役員を派遣する他、年二回の研究会の開催にも協力しており、クラシックコンサート界の人材育成・調査研究等について産学連携を構築している。

※第16回夏の研究会（音楽祭と地域づくり～霧島国際音楽祭の事例にみる～）

シンポジウム 令和6年7月29日（月）09:30～12:00 みやまコンセール

※第17回冬の研究大会（研究発表とパネルディスカッション、シンポジウム）

13のテーマによる研究発表

令和7年2月15日（土）09:00～15:35 武蔵野音楽大学

シンポジウム「どうする、これからの文化行政」

令和7年2月15日（土）15:50～17:50 武蔵野音楽大学

6、国際交流事業（定款第4条第2項関係）

(1) FACP（アジア文化芸術交流促進連盟）への参加

第42回年次総会は2024年12月1日～3日、香港にて実施され、国際委員会担当の二瓶専務理事他が出席し、主にアジア各地からの参加者と交流した。“Beyond Borders, Beyond Imagination – Today’s Arts Tech.”をテーマに、AIも含む最新テクノロジーを用いたアートの可能性など、興味深いパネルディスカッションやプレゼンテーションが行われた。日本から東京交響楽団が実施したクラシック音楽バーチャルアーティストプロジェクトが紹介され、参加者の関心を集めた。尚、2025年の年次総会は10月16日～19日韓国・プチョン市にて予定されている。

(2) その他の国際交流活動

第34回 IAMA（国際アーティストマネジャー協会）は2025年4月9日～11日にイギリス・ロンドンでカンファレンスが開催された。コロナ前に比べ日本からの参加者は減少傾向にある。近年欧米では大手マネジメント企業のM&Aが見られるほか、アーティストマネジャーが独立してブティックオフィスを立ち上げる傾向がみられる。次回は2026年4月14日～16日にエストニア・タリンで開催予定。

7、企業イベント制作事業（定款第4条第3項関係）

(1) 宝くじ文化事業

※宝くじドリーム館 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの販売促進及び普及宣伝に向けた普及型コンサートを、東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間12回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間12回それぞれ開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとコンサートを通じたクラシック音楽普及活動を行なった。尚、感染症対策等の緩和により、東京は120名限定(昨年より40名増)、大阪は80名限定(昨年より30名増)の入場者での開催となった。東京の全12回の合計来場者数は約1,500名、大阪の全12回の合計来場者数は約1,000名。

東京ドリーム館は原則毎月第三水曜日の12:00 ランチタイムに開催。

大阪ドリーム館は原則毎月第三木曜日の16:00 トワイライトで開催。

[出演者の所属会員]

アーティフィニティ、1002、コンサートイマジン、ジャパン・アーツ、新演コンサート、東京コンサーツ、日本オペラ振興会、ノジリスタジオ、パシフィック・コンサート・マネジメント、プレルーディオ、プロ アルテムジケ、ミリオンコンサート協会、他

尚、出演者の選定については、宝くじと言う公益性を重視して、公共ホール音楽活性化事業の登録アーティストを中心に選出している。

※サマージャンボ抽せん会アトラクションの制作

サマージャンボ宝くじでは8月23日の抽せん会後のアトラクションにて、今年からクラシックコンサートが実施される事となり、当協会が公演制作の全てを受託した。今年は大分県大分市で開催され1,000名を超えるお客様がご来場され、多くの宝くじファンに対して、クラシックコンサートの魅力をアピールする音楽普及活動を行なった。

8月23日（金）抽せん会 11:15 開場/11:45 開始（アトラクション 13:30 開始）

iichiko 総合文化センター iichiko グランシアタ

出演：NHK 交響楽団メンバーによる特別オーケストラ 指揮：梅田俊明

※年末ジャンボ宝くじ抽せん会アトラクションの制作

年末ジャンボ宝くじでは12月31日の抽せん会後のアトラクションにて昨年に引き続きクラシックコンサートが実施される事となり、当協会が公演制作の全てを受託した。昨年に引き続き入場制限が撤廃された事から、1,000名を超えるほぼ満席に近い状態で開催され、ご来場された多くの宝くじファンに対して、クラシックコンサートの魅力をアピールする音楽普及活動を行なった。

12月31日（日）抽せん会 10:45 開場/11:00 開始（アトラクション 14:00 開始）

東京オペラシティコンサートホール

[出演者の所属会員] AMATI、ジャパン・アーツ、二期会 21、日本オペラ振興会、他

II 会議等の開催、委員会の報告、会員数の状況、その他の概況（令和6年度）

1、会議等の開催、委員会の報告

○総会

定時会員総会 6月27日(木) 14時00分 東京・品川区 東京オペラシティ 7F 第6会議室

○理事会

第1回定例理事会 5月30日(木) 14時00分 東京・品川区 オフィスサークルN五反田セミナー室
第2回定例理事会 10月10日(木) 14時00分 東京・品川区 オフィスサークルN五反田セミナー室
第3回定例理事会 1月30日(木) 15時00分 東京・千代田区 アルカディア市ヶ谷 私学会館 7F 雲取
第4回定例理事会 3月27日(木) 14時00分 東京・品川区 オフィスサークルN五反田セミナー室

○執行役員会(会長・副会長・専務理事・常任理事)

第1回執行役員会 5月30日(木) 12時00分 東京・品川区 協会事務局会議室
第2回執行役員会 1月30日(木) 14時00分 東京・千代田区 アルカディア市ヶ谷 私学会館 7F 雲取
第3回執行役員会 3月27日(木) 12時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

○統括執行役員会(会長・専務理事・常任理事)

第1回統括役員会 10月10日(木) 12時00分 東京・品川区 協会事務局会議室
第2回統括役員会 12月13日(金) 12時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

○監査(監事・協会公認会計士・協会税理士)

定時監査 5月14日(火) 13時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

○新年会

令和七年新年会 1月30日(木) 17時00分 東京・千代田区 アルカディア市ヶ谷 私学会館 6F 霧島

○マネジメント部会

クラシック音楽普及事業の(1)に記載の活動を推進する他、アフターコロナ対策における契約条項の見直しについては音楽関連人材育成事業の(4)に記載している。

○ホール部会

令和6年4月より義務化へと強化された合理的配慮の提供について、クラシック公演の障害者対応の情報交換に務めているほか、下記に記載のインバウンド対策協議会では、主要なホール会員が参画し、マナー啓発や、注意事項に関する多言語化対応等に向けてホール間の情報共有を積極的に展開している。又、情報収集発信事業の(3)に記載の市場調査についても、ホール会員への協力の働きかけ等を実施している。

○教育・創造部会

音楽文化振興事業の(2)に記載の活動を推進する他、音楽関連人材育成事業の(3)に記載の産学連携テキストのリニューアルの実務を担当・実施した。

○オペラ部会

加盟会員のオペラ団体が五団体と増加したことから、次年度に向けてオペラ団体の連携を一層強化し、声楽、合唱、オペラといった声のコンテンツの創造発信に向けて活動すべく準備中である。

○関西地区連絡協議会

関西地区連絡協議会では、コロナ禍からの回復調査を含む関西会員の現状と課題を共有し、協会活動に対する意見聴取を行う等、関西地区会員の連携強化に取り組む他、会員の親睦を深める活動を行った。今年度は、チケットの販売拡大、顧客拡大での連携について、公演時のクレーム対処、キャンセル対応、合理的配慮義務対応、インバウンド対応について計2回の協議会を開催しそれぞれ終了後には懇親会を開

催した。

9月21日(土) 17:00～ ザ・シンフォニーホール会議室 他 8社12名 協会役員6名 計18名
12月7日(土) 17:00～ ザ・シンフォニーホール会議室 他 8社11名、協会役員3名 計14名

○インバウンド対策協議会

訪日外国人の増加に伴うインバウンド対策についてコロナ禍以降の課題等も踏まえて、テーマに興味のある会員の参画を得て、3回の委員会と2回の作業部会が開催された。この結果、協会としての取り組みとして、マナー啓発に向けた共有フォーマットの作成と運用紹介(ピクトグラムによる5つのマナー啓発の作成)、公演に関する注意事項の多言語化対応(日本における主たる8つの注意事項の日英中韓の作成)に加え、次年度に向けては来場者向け事前情報(How to enjoy)の取り組み、海外へのチケット販売マーケティングの事例共有やあらゆる場面が想定される現場対応等の講習会に取り組む方針である。

第1回協議会 11月6日(水) 13時00分 オフィスサークルN五反田セミナー室 計17名参加
第2回協議会 1月27日(水) 15時00分 オフィスサークルN五反田セミナー室 計17名参加
第3回協議会 4月21日(月) 13時00分 オフィスサークルN五反田セミナー室 計15名参加
第1回作業部会 4月4日(金) 13時00分 オフィスサークルN五反田会議室 計10名参加
第2回作業部会 4月11日(金) 13時00分 オフィスサークルN五反田会議室 計10名参加

2、会員・役員の移動状況報告

令和6年度の会員数

	令和6年4月1日	令和7年4月1日	増減
正会員A	7	8	+1
正会員B	25	24	-1
正会員C	17	17	0
賛助会員	44	46	+2
名誉会員	0	0	0

資格変更 : 賛助会員より正会員Aへ＝株式会社光藍社

正会員Bより賛助会員へ＝一般社団法人ブラームスホール協会

入 会 : 賛助会員＝公益財団法人神戸市民文化振興財団、株式会社コンソナンティアピオス、
公益財団法人日本センチュリー交響楽団、

退 会 : 賛助会員＝株式会社ソナーレ・アートオフィス

令和6年度の役職員数

	令和6年4月1日	令和7年4月1日	増減
理事	16	15	-1
監事	2	2	0
顧問	4	4	0
参与	3	3	0
職員	2(役員兼務1名含む)	2(役員兼務1名含む)	0

理事定数14名以上18名以内、監事2名又は3名、顧問・参与各4名以内

3、クラシック音楽の普及、関係団体との連携・協力に向けた活動

(1) 関係団体との連携・協力

- ・東京都ネットワーク会議への出席(第1回7月10日、第2回2月5日)
- ・チケット適正流通協議会に加盟して活動を推進している。
- ・全国中小企業団体中央会(経済産業省・中小企業庁関係組織)に加盟して活動を推進している。

- ・文化芸術推進フォーラムに加盟して文化芸術の振興に向けた活動に協力している。
- ・日本音楽産業・文化振興財団に加盟して事業を推進する他、善積参与を評議員として派遣している。
- ・子ども達と芸術家の出会う街ネットワークの構成団体として参画する他、丹羽常任理事を監事として派遣し事業に協力している。
- ・パシフィックミュージックフェスティバル組織委員会の顧問に入山会長が就任し活動を推進している。
- ・仙台国際音楽コンクール組織委員会の委員に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。
- ・日本音楽芸術マネジメント学会の理事に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。

(2) 後援名義等の許可状況

令和6年度は以下の8事業について当協会として名義後援を行った。

申請者：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会

事業名：第48回ピティナ・ピアノコンペティション特級セミファイナル・特級ファイナル

申請者：公益財団法人仙台市市民文化事業団 事業名：仙台クラシックフェスティバル 2024

申請者：公益財団法人日本オペラ振興会 事業名：イタリア著名国際オペラフェスティバルの優秀指導者を招聘して実施する国際的オペラ歌手育成事業

申請者：株式会社ザ・シンフォニーホール 事業名：オールスター紅白オペラ歌合戦 2024

申請者：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2025 運営委員会 事業名：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2025

申請者：有限会社クラシック名古屋 事業名：愛知4大オーケストラ・フェスティバル 2025

申請者：有限会社クラシック名古屋 事業名：リニアクラシックコンサートシリーズ

申請者：公益財団法人ロームミュージックファンデーション 事業名：スカラシップコンサート

4、この法人の目的に適う事業

新型コロナウイルス感染症への対策として組織された「クラシック音楽公演運営推進協議会」（当協会と公益社団法人日本オーケストラ連盟、公益社団法人日本演奏連盟他で構成され事務局を当協会内に設置）では、コロナ以降も関係官庁及び関係団体と連携して有事に備えた連携を構築すると共に、全国の地方団体、全国のホール、アマチュア団体、クラシック音楽ファン等からの窓口として対応し、クラシック音楽業界の統一窓口としての機能を果たしている。